



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インタースペース

コード番号 2122 URL <http://www.interspace.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680

定時株主総会開催予定日 2021年12月24日 配当支払開始予定日 2021年12月27日

有価証券報告書提出予定日 2021年12月27日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	23,142	△7.0	483	7.0	624	28.8	427	65.3
2020年9月期	24,880	△12.9	452	△48.5	485	△45.6	258	△42.0

(注) 包括利益 2021年9月期 466百万円 (81.4%) 2020年9月期 257百万円 (△41.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	63.11	—	8.1	6.4	2.1
2020年9月期	38.16	—	5.1	5.3	1.8

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 58百万円 2020年9月期 6百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	10,280	5,452	53.0	804.21
2020年9月期	9,239	5,121	55.4	755.38

(参考) 自己資本 2021年9月期 5,452百万円 2020年9月期 5,121百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	1,366	△129	△135	5,457
2020年9月期	604	△506	△120	4,348

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	135	52.4	2.7
2021年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	135	31.7	2.6
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		32.3	

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	—	270	—	285	—	190	—	28.03
通期	7,000	—	600	—	635	—	420	—	61.95

(注) 2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年9月期	6,967,200株	2020年9月期	6,967,200株
2021年9月期	187,743株	2020年9月期	187,743株
2021年9月期	6,779,457株	2020年9月期	6,781,878株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	19,584	△12.7	475	△22.4	494	△19.1	279	△17.8
2020年9月期	22,432	△11.9	612	△31.7	610	△30.7	340	△21.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	41.24	—
2020年9月期	50.17	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年9月期	8,602		5,327		61.9	785.66		
2020年9月期	8,309		5,154		62.0	760.17		

(参考) 自己資本 2021年9月期 5,326百万円 2020年9月期 5,153百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会の開催及び決算資料の入手方法について)

当社は、2021年11月10日（水）に機関投資家・アナリスト向けのオンライン決算説明会をWEB会議システムを用いて実施する予定です。当日使用する決算補足説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ

(<https://www.interspace.ne.jp/ir/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14
4. その他	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、「緊急事態宣言」および「まん延防止等重点措置」が断続的に発出され、外出の自粛などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

インターネット広告市場は、巣ごもり需要によって、SNSやEC、動画配信サービスへの接触機会が増加し、2020年は前年比5.9%増の2兆2,290億円となりました（株式会社電通調べ）。しかしながら、成果報酬型広告は、新型コロナ拡大による出稿控えの影響を受け、前年比6.1%減の985億円となりました（サイバー・コミュニケーションズ/D2C/電通/電通デジタル 共同調査・発表）。

こうした事業環境のもと、当社グループは、働き方の新しいスタイルとして、在宅勤務や時差出勤、業務のオンライン化を全社的に推進し、政府が求める出勤者数の削減を達成しながら、感染症対策と生産性向上の両立に取り組んでまいりました。

アフィリエイトサービス「アクセストレード」においては、個人の投資需要や巣ごもり需要を取り込み、金融案件が伸長し、店舗アフィリエイトサービス「ストアフロントアフィリエイト」においては、ストック収益の継続課金型コンテンツの販売注力により事業基盤を強化し、海外事業においては、登録メディアパートナー数を大幅に増加させました。また、ママ向け情報サイト「ママスタ」においては、月間のコンテンツ閲覧数が6億ページビューを突破いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は23,142百万円（前連結会計年度比7.0%減）、営業利益は483百万円（同7.0%増）、経常利益は624百万円（同28.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は427百万円（同65.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<インターネット広告事業>

当連結会計年度のインターネット広告事業において、主力の「アクセストレード」では、金融市場の活発化により証券や暗号資産案件が大きく伸長したほか、マッチングアプリやオンライン教育サービスなどの案件が好調に推移いたしました。また、新たにInstagramやYouTubeなどのSNSアカウントによるパートナー登録を開始し、広告ネットワークのさらなる拡大を図りました。一方、一昨年度から発生していた大型案件の受注縮小や、薬機法、景表法等による規制強化の影響を受けた健康食品等の案件の減少により、収益は伸び悩みました。

「ストアフロントアフィリエイト」では、スマートフォン向けセキュリティ商品を扱う「MWノートンストア」などの継続課金型サービスの販売チャネル拡大に注力し、収益を順調に積み上げたほか、収益性の高い新規商材の開発に注力いたしました。

海外事業では、マレーシア、インドネシアにおいてECや金融案件の売上が増加したほか、メディアパートナー向け教育プログラム「ATA（アクセストレードアカデミー）」の開催など、現地メディアパートナーの開拓に注力した結果、登録メディアパートナー数が108万サイトにまで伸長いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は21,446百万円（前連結会計年度比9.5%減）となり、セグメント利益は331百万円（同52.6%減）となりました。

<メディア運営事業>

当連結会計年度のメディア運営事業では、「ママスタ」において、子育てや教育などママのニーズに寄り添ったコンテンツの拡充や、大手ポータルサイトからの流入増加により、2021年7月には月間コンテンツ閲覧数が6億ページビューを突破し、当社グループの収益に貢献いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は2,311百万円（前連結会計年度比47.9%増）となり、セグメント利益は152百万円（前連結会計年度はセグメント損失247百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は8,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ990百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,108百万円増加したこと、売掛金が107百万円増加したことによるものであります。売掛金の増加は前第4四半期連結会計期間に比べて当第4四半期連結会計期間の売上高が増加したことに伴うものであります。固定資産は1,554百万円となり、前連結会計年度末と比べ50百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が57百万円減少したこと、投資その他の資産が107百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は10,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,041百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ705百万円増加いたしました。これは主に買掛金が509百万円増加したこと、未払法人税等が190百万円増加したことによるものであります。固定負債は73百万円となり、前連結会計年度末と比べ4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は4,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ709百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は5,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ331百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益427百万円及び剰余金の配当135百万円により、利益剰余金が292百万円増加したこと、およびその他有価証券評価差額金が28百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、53.0%（前連結会計年度末は55.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ、1,108百万円増加し、5,457百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収入は1,366百万円（前連結会計年度は604百万円の収入）となりました。

主な資金増加要因は、税金等調整前当期純利益633百万円、減価償却費204百万円、仕入債務の増加額506百万円によるものであります。主な資金減少要因は、売上債権の増加額102百万円、法人税等の支払額109百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金支出は129百万円（同506百万円の支出）となりました。

主な資金増加要因は、差入保証金の回収による収入33百万円であり、主な資金減少要因は、有形固定資産の取得24百万円、無形固定資産の取得145百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金支出は135百万円（同120百万円の支出）となりました。

主な資金減少要因は、配当金の支払額135百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率 (%)	47.8	52.6	54.8	55.4	53.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	153.1	132.3	99.6	88.1	67.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

第23期連結会計年度におけるわが国の経済は、緊急事態宣言の解除や活動制限の緩和に伴う、抑制されてきたサービス消費の活発化などにより、景気の回復が見込まれております。このような状況において、インターネット広告媒体費は、新型コロナウイルス感染症の影響で見通しづらいものの、2021年には前年比107.7%となる1兆8,912億円まで成長することが見込まれております（サイバー・コミュニケーションズ/D2C/電通/電通デジタル 共同調査・発表）。このような事業環境において、当社グループは「広告事業における収益基盤の強化」「メディアの開発と育成」「グローバル展開のさらなる推進」に取り組んでまいります。

2022年9月期の連結業績予想につきましては、売上高7,000百万円、営業利益600百万円、経常利益635百万円、親会社株主に帰属する当期純利益420百万円を見込んでおります。

(参考)

(単位：百万円)

	2021年9月期	2022年9月期	増減率 (%)
	金額	金額	
取扱高 ※1	23,142	25,500	10.2%
売上高 ※2	6,380	7,000	9.7%
営業利益	483	600	24.2%
経常利益	624	635	1.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	427	420	△1.8%
1株当たり当期純利益 (円)	63.11	61.95	—

※1 2022年9月期の取扱高は、「収益認識に関する会計基準」等適用前の売上高に近似する金額です。

※2 2021年9月期の売上高は、当期業績に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算定しております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれております。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,348,771	5,457,357
売掛金	2,995,102	3,102,402
その他	395,999	171,877
貸倒引当金	△3,836	△5,366
流動資産合計	7,736,037	8,726,270
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	137,302	132,743
減価償却累計額	△56,114	△58,677
建物(純額)	81,187	74,065
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	699,122	621,221
減価償却累計額	△553,315	△524,983
工具、器具及び備品(純額)	145,807	96,238
リース資産		
リース資産	10,080	—
減価償却累計額	△9,744	—
リース資産(純額)	336	—
有形固定資産合計	227,331	170,304
無形固定資産		
のれん		
のれん	257,854	231,408
ソフトウェア		
ソフトウェア	336,744	363,629
その他		
その他	46	302
無形固定資産合計	594,645	595,340
投資その他の資産		
投資有価証券		
投資有価証券	321,176	400,209
繰延税金資産		
繰延税金資産	73,947	146,542
その他		
その他	305,692	262,914
貸倒引当金	△19,420	△21,081
投資その他の資産合計	681,395	788,584
固定資産合計	1,503,372	1,554,229
資産合計	9,239,410	10,280,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,477,764	3,987,545
リース債務	181	—
未払法人税等	38,246	228,566
賞与引当金	168,457	171,439
損害賠償損失引当金	16,740	—
その他	346,556	366,144
流動負債合計	4,047,946	4,753,696
固定負債		
繰延税金負債	993	—
その他	68,654	73,894
固定負債合計	69,647	73,894
負債合計	4,117,594	4,827,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	3,500,898	3,793,187
自己株式	△103,775	△103,775
株主資本合計	5,106,776	5,399,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,169	57,002
為替換算調整勘定	△13,878	△3,932
その他の包括利益累計額合計	14,291	53,070
新株予約権	748	772
純資産合計	5,121,815	5,452,909
負債純資産合計	9,239,410	10,280,500

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	24,880,448	23,142,475
売上原価	20,123,700	18,060,567
売上総利益	4,756,748	5,081,908
販売費及び一般管理費	4,304,645	4,597,953
営業利益	452,103	483,955
営業外収益		
受取利息	586	568
受取配当金	—	10,253
持分法による投資利益	6,039	58,063
投資事業組合運用益	57,451	71,830
助成金収入	9,097	1,883
その他	1,594	3,328
営業外収益合計	74,768	145,927
営業外費用		
支払利息	—	26
為替差損	34,826	1,401
和解金	4,465	—
外国源泉税	1,657	2,028
消費税等差額	467	920
その他	304	550
営業外費用合計	41,722	4,926
経常利益	485,148	624,955
特別利益		
事業譲渡益	—	18,181
特別利益合計	—	18,181
特別損失		
減損損失	8,414	—
投資有価証券評価損	—	9,999
損害賠償損失引当金繰入額	16,740	—
事業譲渡損	3,730	—
特別損失合計	28,885	9,999
税金等調整前当期純利益	456,263	633,137
法人税、住民税及び事業税	169,186	241,881
過年度法人税等	—	49,272
法人税等調整額	28,247	△85,894
法人税等合計	197,433	205,258
当期純利益	258,830	427,878
親会社株主に帰属する当期純利益	258,830	427,878

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	258,830	427,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	732	28,833
為替換算調整勘定	△1,639	4,907
持分法適用会社に対する持分相当額	△664	5,039
その他の包括利益合計	△1,571	38,779
包括利益	257,258	466,658
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	257,258	466,658

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	984,653	725,000	3,357,377	△100,352	4,966,679
当期変動額					
剰余金の配当			△115,308		△115,308
親会社株主に帰属する当期純利益			258,830		258,830
自己株式の取得				△3,423	△3,423
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	143,521	△3,423	140,097
当期末残高	984,653	725,000	3,500,898	△103,775	5,106,776

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	27,436	△11,573	15,862	752	4,983,293
当期変動額					
剰余金の配当					△115,308
親会社株主に帰属する当期純利益					258,830
自己株式の取得					△3,423
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	732	△2,304	△1,571	△4	△1,575
当期変動額合計	732	△2,304	△1,571	△4	138,522
当期末残高	28,169	△13,878	14,291	748	5,121,815

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	984,653	725,000	3,500,898	△103,775	5,106,776
当期変動額					
剰余金の配当			△135,589		△135,589
親会社株主に帰属する当期純利益			427,878		427,878
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	292,289	—	292,289
当期末残高	984,653	725,000	3,793,187	△103,775	5,399,066

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	28,169	△13,878	14,291	748	5,121,815
当期変動額					
剰余金の配当					△135,589
親会社株主に帰属する当期純利益					427,878
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	28,833	9,946	38,779	24	38,803
当期変動額合計	28,833	9,946	38,779	24	331,093
当期末残高	57,002	△3,932	53,070	772	5,452,909

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	456,263	633,137
減価償却費	229,952	204,409
減損損失	8,414	—
のれん償却額	6,611	26,446
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,264	2,997
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,746	2,925
損害賠償損失引当金の増減額 (△は減少)	16,740	△16,740
事業譲渡損益 (△は益)	3,730	△18,181
受取利息及び受取配当金	△586	△10,821
為替差損益 (△は益)	32,480	△3,619
持分法による投資損益 (△は益)	△6,039	△58,063
投資事業組合運用損益 (△は益)	△57,451	△71,830
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	9,999
売上債権の増減額 (△は増加)	△44,381	△102,573
仕入債務の増減額 (△は減少)	254,180	506,393
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44,052	61,469
その他	8,702	196,512
小計	870,048	1,362,461
利息及び配当金の受取額	693	10,817
投資事業組合分配金の受取額	80,059	92,040
利息の支払額	—	△26
法人税等の支払額	△361,438	△109,240
法人税等の還付額	14,822	10,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,186	1,366,657
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△88,389	△24,776
無形固定資産の取得による支出	△162,557	△145,549
投資有価証券の取得による支出	—	△25,000
投資有価証券の売却による収入	—	20,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△264,320	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△230	—
貸付けによる支出	△300	—
貸付金の回収による収入	688	183
差入保証金の差入による支出	△3,015	△1,256
差入保証金の回収による収入	1,329	33,018
資産除去債務の履行による支出	—	△4,700
事業譲渡による収入	10,000	18,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△506,794	△129,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2,177	△181
自己株式の取得による支出	△3,423	—
配当金の支払額	△115,131	△135,433
新株予約権の発行による収入	—	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,731	△135,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31,856	7,418
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55,196	1,108,585
現金及び現金同等物の期首残高	4,403,968	4,348,771
現金及び現金同等物の期末残高	4,348,771	5,457,357

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討をおこなう対象となっているものであります。

当社グループは、インターネット広告事業、メディア運営事業を主な事業としており、各事業部門は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部門を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「インターネット広告事業」、「メディア運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

「インターネット広告事業」は、アフィリエイトプログラム「アクセストレード」「ストアフロントアフィリエイト」を中心とするアフィリエイトサービスの提供をおこなっております。

「メディア運営事業」は、広告媒体の運営及びコンテンツメディアの運営をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,688,619	1,191,829	24,880,448	—	24,880,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,014	371,710	383,725	△383,725	—
計	23,700,633	1,563,540	25,264,173	△383,725	24,880,448
セグメント利益又は損失(△)	699,347	△247,243	452,103	—	452,103
セグメント資産	4,354,706	750,057	5,104,764	4,134,646	9,239,410
その他の項目					
減価償却費	202,922	27,029	229,952	—	229,952
のれん償却額	—	6,611	6,611	—	6,611
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	173,661	275,429	449,090	9,857	458,948

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産のうち、調整の項目に含めた全社資産4,134,646千円の主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）であります。

(2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,427,629	1,714,845	23,142,475	—	23,142,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,000	597,118	616,118	△616,118	—
計	21,446,630	2,311,964	23,758,594	△616,118	23,142,475
セグメント利益	331,253	152,701	483,955	—	483,955
セグメント資産	4,667,245	772,721	5,439,967	4,840,532	10,280,500
その他の項目					
減価償却費	190,292	14,116	204,409	—	204,409
のれん償却額	—	26,446	26,446	—	26,446
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	143,033	6,201	149,235	19,804	169,039

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産のうち、調整の項目に含めた全社資産4,840,532千円の主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）であります。

(2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	755.38円	804.21円
1株当たり当期純利益	38.16円	63.11円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	258,830	427,878
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	258,830	427,878
普通株式の期中平均株式数（株）	6,781,878	6,779,457
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権（新株予約権の数 1,870個、新株予約権の目的となる株式の数 187,000株、発行価格 1,471円）	第4回新株予約権（新株予約権の数 1,870個、新株予約権の目的となる株式の数 187,000株、発行価格 1,471円） 第5回新株予約権（新株予約権の数 240個、新株予約権の目的となる株式の数 24,000株、発行価格 1,468円）

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動 (2021年12月24日予定)

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

新任監査役候補

監査役 吉富 純一

(注) 吉富 純一氏は、社外監査役の候補者であります。

退任予定監査役

監査役 高山 陽